

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	健全な水環境の形成検討小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (水環境運営委員会)	
設置期間	2008 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	2005～2007 年度、水環境憲章小委員会において、「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」を検討・作成した。この考え方について事例等を含んだわかりやすい解説資料を作成し、学会内外へ発信する。 初年度：(1) 考え方の公表 (2) ①解説の情報伝達(発信)のシナリオ検討と確定 ②解説の掲載項目・内容・フォームの検討と確定、③情報収集と原稿(案)作成着手 2 年度：①解説(案)の作成、②シンポジウム開催、③解説のまとめ 3 年度： 解説書の完成と公表	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 ・ 浅野良晴(信州大学) ・ 大塚雅之(関東学院大学) ・ 小瀬博之(東洋大学) ・ 高地進(ビエーシー環境モード) ・ 黒岩哲彦(アルキテクタ)・加藤篤(日本トイレ協会) ・ 中久喜康秀(竹中工務店) ・ 長尾良久(TOTO) 計 8 名	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2010 年度予算	40,000 円	ホームページ公開の有無：なし(運営委員会ホームページに掲載可能) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kankyo/s21/water/

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初計画の解説書完成の見通しがついた。
委員会活動の問題点・課題	委員会活動が終了(今年度まで)するが、今後も「水環境形成の考え方(憲章的文章)」について留意し、周知することを継続していく。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2010 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>目標としていた「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」の解説書作成・完成の見通しができた。解説書の内容は、当初計画・イメージしていたものから変更となったが、考え方（憲章的文章）を見ていただく呼び水的なものとして、簡潔にまとめることができたと思う。従って、目標をほぼ達成できたものと判断し、上記評価とする</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。